

兵庫県防衛懇話会を開催



- ① 防衛懇話会を開催
- ② 定期総会・各支部総会を開催
- ③ 退職自衛官の就職支援についてお願い
- ④ 兵庫地方協力本部より

発行 兵庫県防衛協会 電話 078-261-9780
印刷 ㈲コベルビジネスサポート

防衛懇話会 記念講演

演題 「防衛産業と集团的自衛権」



防衛産業と集团的自衛権について講演する桜林美佐氏

兵庫県防衛協会は6月6日(金)、兵庫県自衛隊父兄会、兵庫県隊友会と共催し、自衛隊兵庫地方協力本部(本部長・下醉尾芳孝1陸佐)の支援を受け、湊川神社楠公会館(神戸市中央区)において

「第18回兵庫県防衛懇話会」を開催した。本年度は、記念講演に、防衛ジャーナリストの桜林美佐氏を講師として迎えた。桜林氏は東京都出身、日本大学芸術学部放送学科を卒業され、以来テレビ番組ディレクターとして「はなまるマーケット」など多数の番組制作を経て、現職に就かれている。また、執筆もされており「海をひらく、知られざる掃海部隊」「誰も語らなかつた防衛産業」「日本に自衛隊がいてよかつた」など多くの本を出版されている。本講演は「防衛産業と集团的自衛権」と題し行われ、安倍政権が目指す集团的自衛権の行使容認に賛同する考えを示した上で、防衛費を増やし、潜水艦など防衛装備品の生産基盤を維持する必要性を説かれた。特に防衛産業に関しては「神戸での潜水艦建造など、日本が誇るオンリーワンの技術の継承が困難になっている。この状態が続けば行く行くは日本の国力の低下に繋がる」と話し、防衛費の増大を求めた。また、集团的自衛権に



懇親会冒頭で主催者代表挨拶を行う大橋会長

ついては、「米国からみて日米安保は『安保のただ乗り』との批判的な見方もあります。相手の立場に立つて考えれば答えはわかる。憲法の解釈変更であり、あくまで憲法の枠内、特段大きな変化はない。」との考えを示された。

講演は、約300人が聴講し、日本の防衛産業の現状や集团的自衛権についての認識を深め、広く防衛思想の高揚を図る。主催者を代表して大橋会長が挨拶し「講師の桜林氏が話された防衛産業



と集团的自衛権について、大変勉強になる講演で多くの方が日本の防衛産業の現状や日本の将来について考える良い機会になった。この講演を通じて我々協力諸団体としては今後、更なる連携の強化に努め、自衛隊の良き理解者として、より一層の協力と防衛思想の普及に努めていく所存」と述べ、参加者に協会活動への協力と活動の更なる活発化を呼びかけた。

定期総会開催

兵庫県防衛協会は6月6日(金)、湊川神社楠公会館において平成26年度定期総会(第48回)を開催した。

定期総会には会員72名が参加した。

平成25年度事業報告及び収支決算報告、平成26年度事業計画及び予算案を審議した。役員等人事については、運営委員

理事等の就任が承認され、各議案はすべて満場一致で可決された。その後、感謝状・全国防衛協会連合会長表彰の受賞状況の紹介が行なわれ



事業報告等について報告を受ける会員

た。最後に宮内常任理事が退職自衛官の就職支援に関するPRを行い自衛官の再就職受け入れへの理解を求めた。

新しく就任した役員は次のとおり

【顧問】

神戸市

市長 久元喜造氏

【運営委員】

川崎重工業(株)

取締役社長 村山 滋氏

【理事】

三木商工会議所

会頭 宮永 淳氏

明石商工会議所

会頭 平岡勝功氏

一般社団法人神戸青年会議所

理事長 久武伸之介氏

各支部総会開催

【東播支部】

6月7日(土) 明石市内において定期総会を開催した。

平成25年度事業報告・収支報告及び平成26年度事業計画・予算案を審議し満場一致で承認された。役員人事については、現役員が引き続き就任することが承認された。

【尼崎支部】

7月1日(火) 尼崎商工会議所において定期総会を開催した。

平成25年度事業報告・収支報告及び平成26年度事業計画・予算案を審議し満場一致で承認された。役員人事については、前会長の森本氏が会長を退任し、新会長の吉田氏が就任することが承認された。

【会長】

株SYSヨシダ

取締役社長 吉田啓方氏

議事終了後、第36普通科連隊長・近藤一陸佐の講演を聴講。その後、懇親会を行なった。

【青年部会】

4月18日(金)、神戸防災合同庁舎において第6回定期総会を開催した。

平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画を審議し満場一致で承認された。議事終了後、自衛隊兵庫地方協力本部

本部長・下酔尾芳孝1陸佐の講話による「勉強会」が行われ、近年の日本を取り巻く情勢や周辺諸国の現状、同盟国との関係など今日日本国民が強く興味をもっている国内外の情勢について丁寧なわかりやすい説明をされた。

その後、ご自身の部隊経験を踏まえ、これからの自衛隊のあり方について語り、その熱心な姿勢に会員は皆、講話に聞き入っていた。

最後に、自衛隊員は皆、過酷な訓練下においても対応できるような死生観について考え、いざとなれば自らを犠牲にしても日本を守る気概があると話し、講話を終えた。



聴講する青年部会会員



下酔尾本部長による講話

阪神病院激励

兵庫県防衛協会は、2月13日(木) 自衛隊阪神病院(院長・森崎陸将補)の激励を行った。

本事業は昭和53年から始まり現在まで継続している事業で、今年も事務局長の中島照弘氏が病院を訪れ院長への表敬と入院患者の激励を行った。

表敬時の懇談では、病院長をはじめ、副院長、看護部長が同席し阪神病院に勤務している隊員や入院患者の現状など様々

な話題について意見交換が行われた。

表敬後、広報担当者の案内で院内施設の説明を受けた。特に、平成25年に新しく導入された医療機器MRIの説明ではモニターに映し出された画像を見ながら説明を受け、体を輪切りにした正確な画像を前に「ここま

で鮮明に体の内部を映し出すことができるんですか」と驚きを隠せないようであった。その後、病棟において中島氏より隊員の1日も早い回復を願って見舞品を手渡し、病院を後にした。



見舞品を手渡す中島事務局長

退職自衛官の就職支援について(抜粋)

兵庫県防衛協会 常任理事

自衛官はその任務の性格上、危険を顧みず日夜職務・訓練に従事し、国土の防衛ならびに保全に努めています。

一方、その精強性を保持する観点から階級に従い夫々若年定年制が取られております。一般企業に於いては65歳定年へと向かう中、自衛官の退職年限は概ね53歳から56歳と50代半ばとなっております。

また、若年層については任期制を取っており、2年から数年間の任期を終えて定年制自衛官への道を歩む若者もいれば任期満了を迎え退職する若者もおります。

概ね20歳代でございます。定年制・任期制の何れの自衛官も、部隊における厳しい教育訓練等により身に付けた特殊技術を保持し精神的にも肉体的にも引き続きその精強さは変わ



合同企業説明会で面談中の自衛官

りなく、一般社会では第一線級の能力・気力・体力を備え更に、誠実性・規律性が極めて高く忍耐強さを併せ持つております。ここに紹介した通り、自衛官は働き盛りで退職するため、その後の生計を維持するため再就職が必要不可欠になります。このような観点から、退職後の就職支援を促進する事により現職自衛官の士気高揚はもとより、受入企業様には優れた人材の確保が可能である事は自明であります。これまでも退職自衛官で民間に再就職し、その就職先に於いては高い評価と信頼を得ております。防衛省としては、民間への再就職に際し必要な技能訓練や心構えに加え知識教

育などにも取組んでおります。再就職先を安定的に準備する事により自衛官が後顧の憂い無く職務に専念し、精強な部隊運営の一助となり、再就職をお引き受け頂いた企業様は、ひいては国家・社会の保全への大きな貢献を果たされる事となるわけです。 援護業務は、自衛隊内の援護部門と自衛隊援護協会が本務を担っておりますが、本防衛協会の会則にもその支援を行う旨が明示されております。会員企業様への絶大なご理解とご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。 尚、9月29日には任期制自衛官を対象に合同企業説明会を予定しておりますので、ご参加を宜しくお願い致します。

■お問合せ先

〒651-0073
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-3
神戸防災合同庁舎 4階
自衛隊兵庫地方協力本部 援護課
TEL078-261-9779 / Fax078-261-9781
E-mail placel-hyogo@peco.mod.go.jp

Event information

※日程は変更になることがあります。日程・イベント内容のお問合せは、それぞれの基地・駐屯地にお問合せいただくか、自衛隊兵庫地方協力本部渉外広報室 TEL078-261-9780 までお問合せ下さい。

- 陸上
 - 富士総合火力演習 8月23日(土)・24日(日)
 - 中部方面隊記念日行事 10月12日(日)
 - 福知山駐屯地記念日行事 10月18日(土)~19日(日)
 - 姫路駐屯地記念日行事 10月26日(日)
 - 今津駐屯地記念日行事 11月9日(日)
 - 自衛隊音楽まつり(東京) 11月13日(木)~15日(土)
 - 中部方面音楽まつり 平成27年2月1日(日)
- 地本
 - 艦艇一般公開(姫路) 7月21日(月祝)

- 海上
 - 舞鶴地方隊サマーフェスタ 7月27日(日)
 - 阪神基地隊サマーフェスタ 8月8日(金)
 - 岩国航空祭 9月13日(土)・14日(日)
 - 徳島航空祭 10月上旬予定
- 航空
 - 小松航空祭 9月20日(土)
 - 浜松航空祭 9月28日(日)
 - 岐阜航空祭 11月23日(日)

見学参加者 募集！ 応募は兵庫県防衛協会の会員に限ります

日本を守る炎の力 FIRE POWER 2014 in FUJI

行動予定	1日目	09:00 集合 集合場所: JR三ノ宮駅周辺 移動: 大型バス(高速道路利用) 昼食: 車内にて弁当 17:00 ホテル着(河口湖周辺のホテルを予定) 夕食(懇親会を予定)
	2日目	07:30 ホテル発 10:10~12:00 火力演習を見学 昼食: 御殿場周辺レストラン予定 移動: 大型バス(高速道路利用) 19:30 解散: JR三ノ宮駅周辺

お申込みは、8月8日(金)まで

- 時期: 平成26年8月22日(金)~23日(土)
- 場所: 静岡県御殿場市東富士演習場(畑岡地区)
- 参加費用 25,000円(1泊4食、懇親会、バス代、保険等を含む) 事前に、銀行振込みにて徴収させていただきます。参加される方には、あらかじめ研修の詳細と振込み先を連絡させていただきます。
- 募集人数を35名と予定しております。先着順で電話にて参加の申し込みを受け付けます。希望される方は、下記までお申し込み下さい。

小松基地航空祭 2014 KOMATSU AIR BASE

お申込みは、8月29日(金)まで

行動予定	07:00 集合 集合場所: JR三ノ宮駅周辺 移動: 大型バス(高速道路利用) 11:00 小松基地着 航空祭見学 14:30 小松基地発 移動: 大型バス(高速道路利用) 19:30 解散: JR三ノ宮駅周辺
------	--

F-15J、ブルーインパルス等の展示飛行が予定されています。

- 時期: 平成26年9月20日(土)
- 場所: 航空自衛隊小松基地(石川県小松市)
- 参加費用 3,000円(バス代、保険を含む) 当日徴収させていただきます。
- 募集人数を40名と予定しております。先着順で電話にて参加の申し込みを受け付けます。希望される方は、下記までお申し込み下さい。
- 参加される方には、研修の詳細が決まり次第、あらかじめ案内を送付させていただきます。

兵庫地方協力本部
だより

企 業 研 修

兵庫地方協力本部(本部長 下醉尾芳孝1陸佐)は、5月28日から平成26年度第1回陸士就職補導教育において受講隊員を引率し企業研修を実施した。

企業研修は就職準備の一環として、民間企業の労働環境を実感できるとともに処遇や採用条件等を直接企業担当者から聞けるもので教育科目の中でも人気が高い。



企業説明を受ける隊員

研修先の「株式会社ダイセル」は姫路市網干区に所在する化学プラントで創業大正8年の老舗の企業である。

会社概要の説明を受けた後、創業当時の建物を遺しつつ近代的な設備が整然と立ち並ぶ広大な敷地内を見学、中でも巨大なプラントを少人数で運用する独自の生産体制や化学プラントとは思えないほど清潔に保たれたプラント内部に隊員の興味も高揚した様子で施設見学後の質疑応答では活発な質問が飛び交っていた。兵庫地本では、任期制隊員等が退職日まで安心して任務に専念できるように本人の希望に沿った早期内定に向けて援護活動が続けていくとしている。

体 験 航 海

兵庫地本は、平成26年6月1日に海上自衛隊舞鶴基地において実施された護衛艦「まつゆき」の体験航海に募集対象者の高校生を連れ参加した。当日は晴天で絶好の体験航海日和であった。艦内では狭い通路の中



「まつゆき」の艦橋から舞鶴湾を眺める高校生

に各種機材や消火設備等が装備され、且つ無駄なく綺麗に整頓されている状態から、日頃、訓練に励む隊員の姿が目に見えなような、いかにも「自衛艦」という印象であった。

体験航海は舞鶴湾を一周するような航路で約2時間のクルージングであったが、乗船した高校生は「海上自衛隊を良く理解することができました。見学に来て良かった。」「もつと海上自衛隊のことを知りたい。」と語るなど、自衛隊への興味を持たせることができた。兵庫地本は、「今後も各種イベント等で募集広報活動を実施し、優秀な受験者の獲得につなげていく」としている。

募 集 説 明 会

兵庫地本は、兵庫県立夢前高校において自衛隊説明会を実施した。夢前高校では、就職希望の生徒に対して予てから授業時間の中で様々な職業に関して「現場で働く人」による説明会を行っており、今回学校側の要請に応じる形で自衛隊の説明会を実施した。

当日は3名の就職希望者と進路指導の教員が参加し、説明会を実施した。説明会では、生徒に対し、自衛隊の職務内容や募集科目についてパンフレットを用いて説明を実施した。

本説明会に参加した生徒からは「この職種はどのような職務内容か?」「入隊するためにはどのような勉強をしたほうがよいか?」など積極的な質問が多く出ていた。進路指導の教員からは「丁寧な説明により募集科目毎の特徴がよくわかりました。」との感想を頂いた。兵庫地本は、今後も学校説明会を積極的に実施して、優秀な人材を確保していきたいとしている。



熱意をもって募集説明!

豊 岡 で P R 活 動

兵庫地本は、5月25日に兵庫県豊岡市に所在する兵庫県立但馬ドームで行われた但馬ドームキッズフェスティバル2014に参加した。キッズフェスタは、親子で楽しめるイベントとして毎年行われているもので、キヤラクショー、歌や踊りのステージなどのほか地元特産品の食べ歩きコーナーなど、盛りだくさんの催し物が行われ、約3万1千人の来場者で賑わった。自衛隊からは、働く乗り物紹介として陸自姫路駐屯地から指揮通信車とオートバイが、兵庫地本からは、73式小型トラックがそれぞれ

展示され、普段、触れることのない自衛隊の乗り物を間近にして会場を訪れた子供達は大喜び。さっそくミニ制服を着て自衛隊の乗り物と一緒にカメラに収まっていた。また、兵庫地本のマスコットキャラクター「ひょうちゃん」が現れると周りを取り囲むように子供達が一斉に集まっていた。キッズフェスタは、自衛隊の施設が存在しない但馬地域の人達にとって自衛隊とふれ合う貴重な機会となり、自衛隊に対する地域住民の理解と信頼を深める絶好の機会となった。



バイクに乗って記念撮影

南 極 の 氷 講 座

兵庫地本は、平成26年4月5日に神戸市立水の科学博物館で南極の氷講座を実施した。

南極の氷講座では、南極の氷を一目見たいという親子連れが多数訪れ立ち見が出るほどの盛況であった。広報班長(西尾智徳1海尉)が「この氷は海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が昨年持ち帰ってきたもので氷の中には約10万年前の空気が含まれており溶ける際にプチッとほじける音がし

ます。」などの説明にうなずくなど驚きの表情をされる方も見られた。その後、氷の体験コーナーでは、子供たちが氷を手で冷たさに歓声をあげ、氷が溶けて空気がほじける時の「プチプチ」という音に耳を澄ましていた。



耳を澄まし氷の溶ける音を聞く子供達